

第65期 中間報告書

平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで



デンヨー株式会社

P.T.Dein Prima Generatorのご紹介

当社で初の海外工場であるP.T.Dein Prima Generator（デイン プリマ ジェネレーター）が

昭和51年3月インドネシア共和国ブカシ県に誕生し、

今年で36年目を迎えることができました。

現地資本との合弁会社として設立し、

現在、発電機ならびに溶接機を製造し、

アジア諸国に出荷しております。



目 次

ごあいさつ…………… ②

製品別の概況（連結）…………… ③～④

ニュース…………… ⑤～⑥

連結決算…………… ⑦～⑧

株式の概況…………… ⑨

会社の概況…………… ⑩

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社第65期の中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

さて、当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興に向けた公共投資等が増加してきたこともあり、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。世界経済は、欧州経済の停滞がアジア諸国の輸出を減速させるなど、依然として不安定な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては被災地の復旧に向けた発電機の需要は、前年同期の緊急時に比べると落ち着いてきましたが、停電対策用の発電機に対する市場が広がりを見せており、また、海外においても北中米市場ならびにアジア市場などで需要が堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、新製品の投入や資源開発国向け販売を強化してまいりましたが、大型発電機の出荷が少し落ち着いたことから、売上高は224億59百万円（前年同期比3.0%減）となりました。また、利益面におきましては、工場の稼働率が高水準に推移し、安定した生産ができたことで原価率が若干改善し、営業利益は19億18百万円（同2.9%増）、経常利益は20億8百万円（同10.2%増）、四半期純利益は12億43百万円（同2.3%増）となりました。

中間配当につきましては、1株当たり普通配当金10円とさせていただきます。

今後の経済見通しにつきましては、国内は復興需要を下支えに引き続き緩やかな回復傾向が続くと予想されますが、海外においては、欧州経済の停滞や長期化する為替円高の影響など先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、きめ細かな営業活動を推進すると共に、新市場の開拓にも注力してまいります。

株主の皆様には、今後とも旧に倍するご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成24年12月



代表取締役会長

久保山英明

代表取締役社長

古賀 繁

●発電機関連



発電機関連では、国内においては停電対策として非常用発電機の出荷が増加したものの、前年同期に比べ中・大型発電機の出荷が減少しました。海外においては北中米やアジアを中心に資源開発国向けなどの出荷が堅調に推移しました。その結果、売上高は166億55百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

（建設工事で使用されるエンジン発電機）

●溶接機関連



溶接機関連では、国内向けに小型の省エネ対応製品の出荷が増加し、海外向けも全般的に堅調で、特に中近東向けが増加したことから、売上高は25億74百万円（同35.9%増）となりました。

（ビル外装工事で使用されるエンジン溶接機）

●コンプレッサー関連



コンプレッサー関連では、主力の国内リース・レンタル市場向けが減少し、売上高は4億8百万円（同34.6%減）となりました。

（道路工事で使用されるエンジンコンプレッサー）

●その他



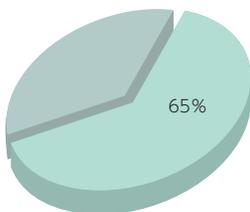
その他では、主に仕入商品売上が減少し、売上高は28億20百万円（同30.6%減）となりました。

（キャンプ場に設置されたマイクロ水力発電装置）

■製品別売上高の推移 (単位：百万円)

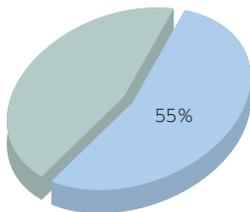
●発電機関連

国内市場占有率



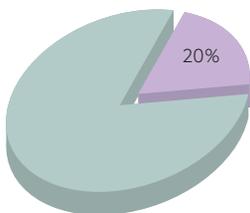
●溶接機関連

国内市場占有率

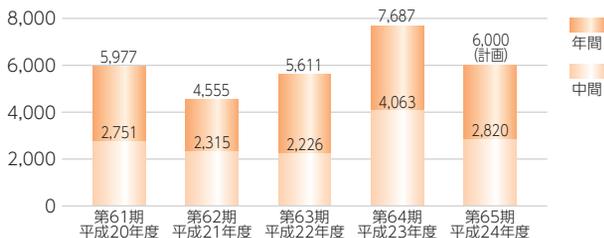


●コンプレッサー関連

国内市場占有率



●その他



(注) 国内市場占有率は当社調べによる。

モデルチェンジにより更に進化

■ 小型エンジン溶接・発電機「GAW-185ES 2」

デンヨーは、好評をいただいております最大溶接電流が185アンペアの小型エンジン溶接・発電機をモデルチェンジし、平成24年8月より発売を開始いたしました。

モデルチェンジの主な内容としては、環境性、経済性に優れた新型エンジンを採用し、クリーンな排ガスと低燃費を実現しました。

また、新しい制御技術により溶接作業をしない時は直ちに出力電圧を下げる電撃防止機能と溶接開始時の使いやすさを追求したアーク特性を組み合わせ、安全で確実な作業を可能にしました。

発電機としても3kVAの発電能力があり、電気特性では高性能インバータ制御と独自の技術により商用電源並の良質な電源が供給可能なことから、パソコンなどの精密機器にも安心してお使いいただけます。

外観デザインは個性あるスタイルと新色を採用し、従来機と同じオール鋼製ボディを継承したことで更に耐久性を高めました。

なお、当社溶接機で注目いただいております自動アイドルストップ機能はオプションでご用意しており、これを装備された場合は燃料消費コストを40%以上削減することができます。

今回のモデルチェンジにより小型エンジン溶接機市場において、更なるシェア拡大を図り、エンジン溶接・発電機のトップブランドとしての地位を堅持していきます。



■ Denyo Manufacturing Corporationの新塗装設備が完成

アメリカ：ケンタッキー州のグループ会社でありますDenyo Manufacturing Corporation（デンヨー マニュファクチュアリング コーポレーション）のカチオン電着塗装設備が完成し、平成24年8月より稼働いたしました。

建屋を新たに増築しての設備導入で、延床面積は約2,000㎡となります。この設備では最大400kVAクラスの発電機まで塗装可能です。

また、省エネオープンの採用やブース内の見える化等で環境にも作業にも優しい設備となっております。

カチオン電着塗装は従来行っておりました粉体焼付け塗装や溶剤焼付け塗装と比べ、防錆性能に優れた高品質な塗装を施すことができ、既にカチオン電着塗装を行っております福井工場の製品と同様に、顧客の皆様によりご満足いただける製品の製造が可能となりました。更に塗装能力も従来設備と比較すると15%以上も向上しました。

今後も高品質な製品を北米市場に提供してまいりますと共に、更なる品質向上を目指してまいります。



カチオン電着専用新建屋



電着塗装の様子

※カチオン電着塗装とは

導電性の水溶性塗料が入った電着槽内に被塗物を浸漬させ、被塗物を陰極（-）とし、電着槽内に設置した極板を陽極（+）としてこの間に直流電流を流すことにより塗料が塗着し、更に焼付け乾燥を行い硬化させることで優れた塗膜を得る塗装方法です。なお、自動車のボディにはこの塗装が用いられています。

■ 自己株式の取得

会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得を行いました。

1. 買付期間 平成24年4月19日から平成24年7月26日まで
2. 買付株式数 300,000株
3. 買付総額 298,104,100円
4. 買付方法 東京証券取引所における市場買付

連結決算 (平成24年9月30日現在)

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日現在)	科目	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	34,001	33,540	流動負債	12,961	11,831
現金及び預金	5,788	7,470	支払手形及び買掛金	8,841	8,649
受取手形及び売掛金	19,845	15,829	短期借入金	747	747
有価証券	500	1,499	未払法人税等	1,686	696
商品及び製品	4,018	4,283	未払費用	424	582
仕掛品	446	681	引当金	853	816
原材料及び貯蔵品	2,444	2,845	その他	407	339
その他	1,015	973	固定負債	3,056	2,446
貸倒引当金	△ 57	△ 43	長期借入金	1,200	1,000
固定資産	17,914	17,318	退職給付引当金	624	524
有形固定資産	10,894	11,303	繰延税金負債	963	719
建物及び構築物	3,906	3,813	その他	267	203
機械装置及び運搬具	945	1,212	負債合計	16,017	14,278
土地	5,337	5,338	(純資産の部)		
建設仮勘定	569	806	株主資本	34,981	35,869
その他	134	132	資本剰余金	1,954	1,954
無形固定資産	369	359	資本剰余金	1,754	1,754
投資その他の資産	6,650	5,655	利益剰余金	32,285	33,471
投資有価証券	5,896	5,332	自己株式	△ 1,013	△ 1,311
その他	763	331	その他の包括利益累計額	135	△ 117
貸倒引当金	△ 9	△ 8	その他有価証券評価差額金	1,303	819
資産合計	51,915	50,858	繰延ヘッジ損益	△ 0	-
			為替換算調整勘定	△ 1,167	△ 936
			少数株主持分	780	827
			純資産合計	35,898	36,580
			負債純資産合計	51,915	50,858

(注) 1. 有形固定資産の前連結会計年度 当第2四半期連結会計期間
減価償却累計額 7,358百万円 7,601百万円
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日
	営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,683
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 654	△ 225
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,135	△ 766
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,188	2,681
現金及び現金同等物の期首残高	8,791	6,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,603	8,970

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

主要な連結子会社および持分法適用関連会社の名称

○主要な連結子会社

デンヨー興産株式会社
西日本発電機株式会社
デンヨー アメリカ コーポレーション
デンヨー マニュファクチャリング コーポレーション
デンヨー ユナイテッド マシナリー PTE. LTD.
デンヨー ヨーロッパ B. V.
デンヨー ベトナム CO., LTD.

○持分法適用関連会社

新日本建販株式会社
P. T. デイン プリマジェネレーター
(上記会社は、当連結会計年度より、持分法適用の範囲に含めております。)

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日
売 上 高	23,165	22,459
売 上 原 価	17,715	17,084
売 上 総 利 益	5,450	5,374
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,586	3,456
営 業 利 益	1,864	1,918
営 業 外 収 益	207	182
営 業 外 費 用	249	92
経 常 利 益	1,822	2,008
特 別 利 益	0	0
特 別 損 失	22	3
税金等調整前四半期純利益	1,799	2,005
法人税、住民税及び事業税	716	647
法人税等調整額	△ 163	74
少数株主損益調整前四半期純利益	1,246	1,282
少数株主利益	30	39
四 半 期 純 利 益	1,216	1,243

前第2四半期連結累計期間

52円75銭

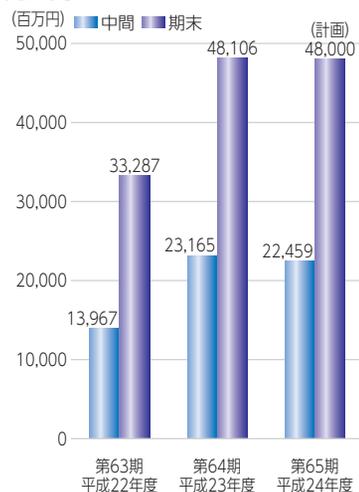
当第2四半期連結累計期間

54円40銭

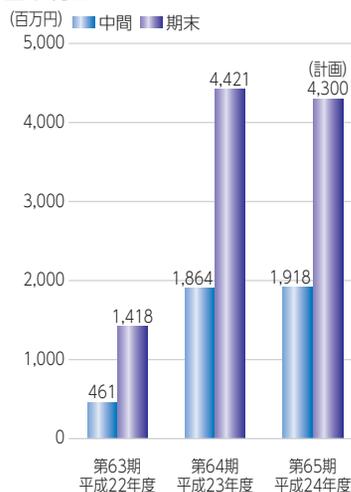
(注) 1. 1株当たり四半期純利益

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

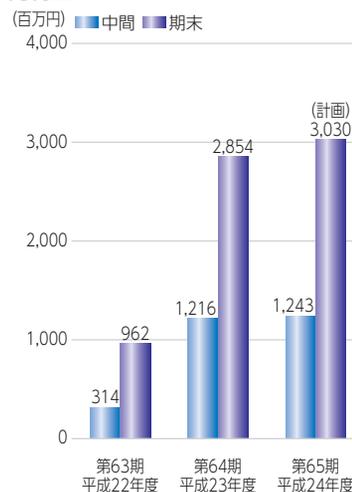
売上高



営業利益



純利益



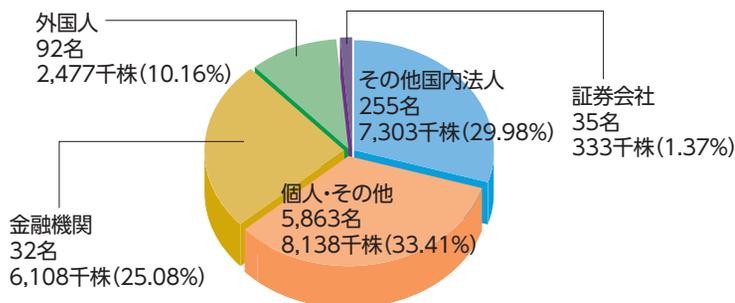
株式の概況 (平成24年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 97,811,000株
- 発行済株式の総数 24,359,660株
(自己株式761,356株を含む)
- 株主数 6,277名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社久栄	1,750千株	7.42%
株式会社みずほ銀行	1,166	4.94
イトウチュウインターナショナルインク	937	3.97
第一生命保険株式会社	872	3.69
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	798	3.38
デンヨ一親栄会	620	2.62
株式会社鶴見製作所	543	2.30
株式会社三菱東京UFJ銀行	540	2.29
コマツディーゼル株式会社	522	2.21
株式会社クボタ	500	2.12

- (注) 1. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の財産として拠出している当社株式1,166千株(持株比率4.94%)を含んでおり、その議決権行使の指図者は株式会社みずほ銀行が留保しております。
(株主名簿上の名義は「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
2. 持株比率は、自己株式(761千株)を控除して計算しております。
3. 当社は、従業員の福利厚生サービスとして自社の株式を給付する、株式給付信託(J-ESOP)を導入しており、本信託の受託者であるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当社株式798千株を保有しております。

○所有者別株式分布状況



会社の概況 (平成24年9月30日現在)

商号	デンヨー株式会社
創立	昭和23年7月2日
本社	東京都中央区日本橋堀留町2丁目8番5号
事業所	全国26ヵ所
資本金	1,954百万円
従業員	446名(連結子会社を含めた従業員832名)
営業種目	下記製品の製造ならびに販売 発電機：エンジン発電機、定置式発電機、交流発電機本体 溶接機：エンジン溶接機、溶接用発電機本体、特殊溶接装置、溶接用治具装置 コンプレッサー：エンジンコンプレッサー、モーターコンプレッサー その他：水関連機器、高所作業車、建設機械、部品および修理、その他

取締役および監査役

代表取締役会長	久保山 英 明	常勤監査役	水 野 康 正
代表取締役社長	古 賀 繁	常勤監査役	吉 田 英 夫
取締役	増 井 亨	社外監査役	麻 崎 秀 人
取締役	白 鳥 昌 一	社外監査役	地 田 良 彦
取締役	江 藤 陽 二		
取締役	矢 代 輝 雄		
取締役	水 野 恭 男		

執行役員

常務執行役員	増 井 亨	執行役員	小 林 靖 弘	執行役員	田 中 利 明
執行役員	白 鳥 昌 一	執行役員	山 口 佳 人	執行役員	田 辺 誠
執行役員	江 藤 陽 二	執行役員	杉 山 勝	執行役員	兔 沢 俊 哉
執行役員	矢 代 輝 雄	執行役員	加 藤 智	執行役員	濱ノ園 健 一
執行役員	水 野 恭 男	執行役員	山 田 康 弘	執行役員	有 満 文 俊



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告方法	日本経済新聞に掲載する
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階）
郵便物送付先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎ 0120-49-7009 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

当社ホームページ：<http://www.denyo.co.jp>

・住所変更・単元未満株の買取等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

・未支払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

・「配当金計算書」について

配当金を銀行等口座振込（株式数比例配分方式を除きます。）または配当金領収証にてお受取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引の証券会社等にご確認ください。